<<進路指導における3本柱「聴く」「説く」「挑む」の基本理念>>

1 学年(自分を知る)

2 学年(可能性を探る)

3 学年(自己実現を図る)

<共通テーマ> 進路選択の基盤となる情報の収集と情報の徹底的な活用(視野を広げる)

「聴く」 Input

テーマ「学習観・職業観の深化、次年度のコース選択に 向けた情報収集、自己分析「これからの自分」を考える」 ○徹底的な「自己理解」を通じ、学ぶことや働くことの意 義について考えさせる。普段の学びの先に進路実現があ 方向性(計画)を自ら示せる生徒を育成する。

テーマ「進学・就職に向けた進路探究 Basic」

○進学・就職希望を問わず、在籍するコースや関心のある | ○2 年次までの取り組みを踏まえ、最終的に受験する学 分野に関連する進路先について調査学習を実施。複数(2 | ~3つ)研究し、比較・検討することで得られる気付き等に ることを意識させ、選択するコースでの学びが今後の自分 ▮ついてまとめる。3 年次の進路選択へスムーズに移行でき↓まえて、面接や志望動機などの準備も進めさせる。『進路 にどう影響するのか考えさせる。1 年の最後には、今後の ▮ゐよう、基盤となる情報の収集と活用のあり方について、年 間を通じて指導していく。

テーマ「進学・就職に向けた進路探求 Advanced」

校や企業について徹底的に調査させる。また、収集した情 報を進路実現に向けて徹底的に活用させていく。これを踏 の手引』へ日頃の取り組みを記録として残し、進路決定後 の振り返り時に自己の成長が確認できるようにする。

<共通テーマ> 将来の自分をイメージし、「やりたいこと」について語ることができる生徒の育成

「言兑く」 Output

テーマ「選択するコースで何を学ぶか?学びをどう進路 に繋げるか?を考える」

ポートしていく。

▋テーマ 「進学先で何を学びたいのか?就職先でどう働きた ┃ テーマ 「小論文や履歴書、面接で自身の考えを他者に分 いのか?を考える」

○「何のために××コースで学ぶのか?」「何を将来的に聞○「進学 or 就職を選んだとしたら・・・」という具体的な自己聞○自身の考えを整理して相手に分かりやすく伝えられるよ やっていきたいのか?」根拠を明確に説明できるような生 ▮をイメージし、今後についてさらに踏み込んで考える。また、 徒の育成に努める。生徒一人ひとりが自信を持って「将来 **■**希望する進路を実現するために「今、ここですべきこと」につ **■**用し、日頃から自身の意見をまとめる訓練を行い試験に備 ~なりたいから、このコースで○○を学ぶ」と言えるようサ▮いても考えさせ、3 年 0 学期に向けた準備を加速させる。こ▮える。面接練習、小論文・志望理由書指導などを通じ、生 の段階での準備が3年時の志望動機に繋がっていく。

かりやすく伝える」

うに指導する。ベネッセ Literas や 1 分間スピーチなどを活 |徒の論理的な思考力、表現力、判断力を高めていく。

<共通テーマ> 志高く、さらなる高みへ ~今の自分から、一歩先の「新たな自分」へ~

「挑む」 Action

テーマ「可能性の開拓~基礎力の底上げを図る~」 ○基礎学力の習得とそれを活用し主体的に課題解決に↓シップへの積極的な参加↓ カ診断テスト、Literas 等を活用し、生徒一人ひとりの力を 客観的に把握させる。これにより、進路実現に必要となる 望する進路先の可能性の幅を広げていく。

テーマ「オープンキャンパス、説明会・見学会、インターン

取り組もうとする姿勢を身につけさせる。 ベネッセの基礎 | 〇「今の自分から一歩踏み出し、 視野を広げる」ことが狙い となる。これらに参加することで得られる気付きや学びを、3 |年次の進路選択へ繋げていく。自己のさらなる可能性や成 ┃の流れを理解し、余裕を持って試験に臨めるよう、きめ細 基礎力の向上を図り、進学・就職希望を問わず生徒の希│長の余地を発見させ、3年0学期に備えていく。「自分ごと」 として今後に具体的なイメージを持たせる。

★テーマ「自らの力で未来を切り拓く」

〇中長期的な視点から進路決定までの流れを逆算させ、 「いつ・何を・どのように・どれくらいのレベルまで?」を徹底 的に考えさせる。生徒全員が自らの戦略を立て、受験まで やかな指導を展開する。3年代表生徒による下級生を対 象とした「進路体験報告会」を実施し、総括とする。